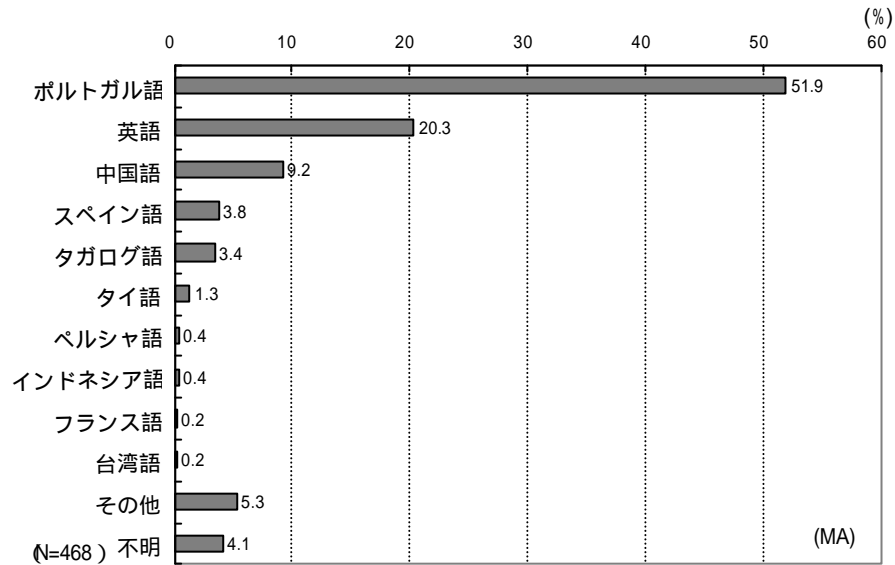


2 - 3 言葉

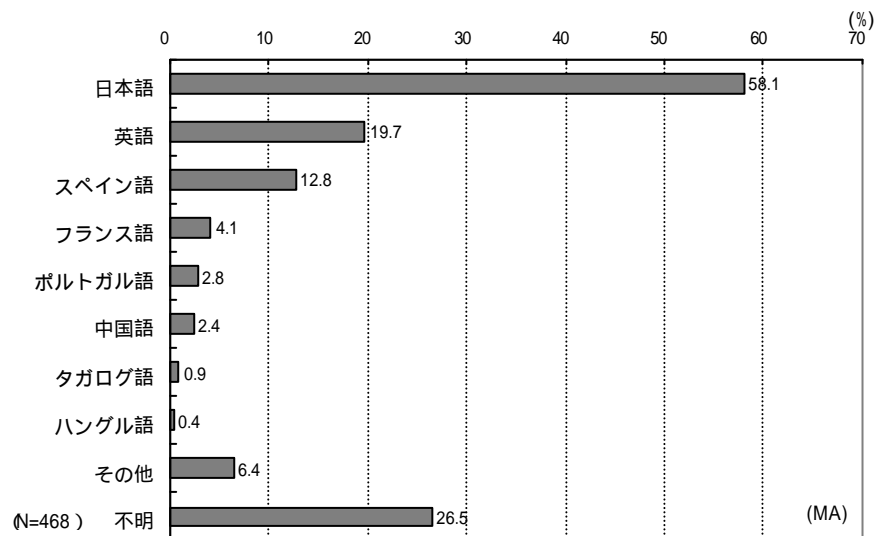
(1) 母国語

母国語は、ブラジル人の回答者が多いため、ポルトガル語が 51.9%と最も多く、次いで英語が 20.3%と多くなっている。



(2) 母国語以外に日常会話ができる言語

母国語以外に日常会話ができる言葉としては、日本語をあげた回答者が 58.1%と最も多く、次いで英語が 19.7%と多い。



(3) 日本語の能力

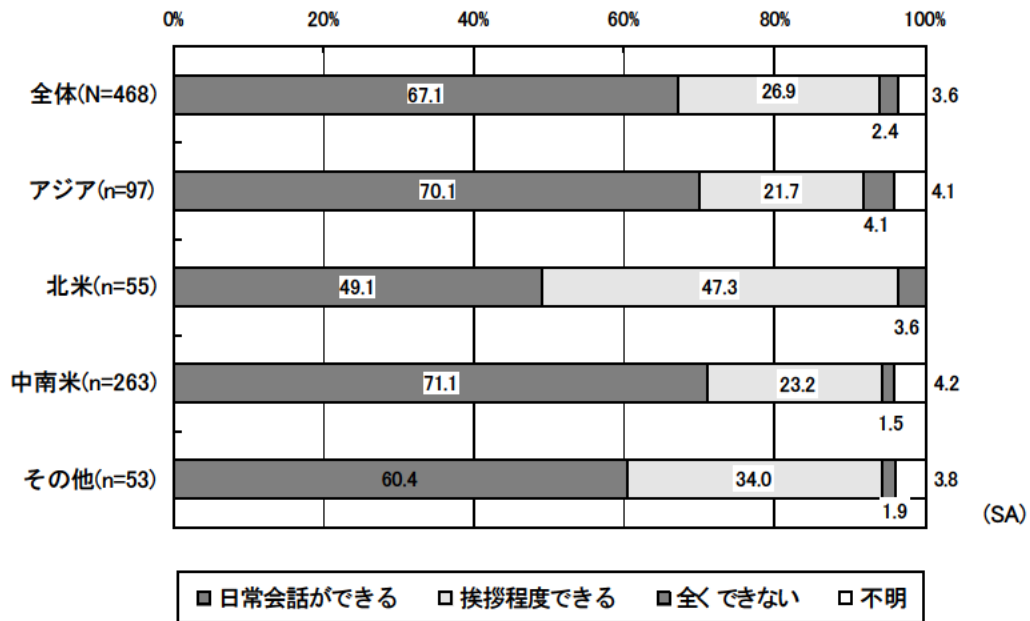
①話す

<全体>

アンケート調査に回答した外国人の中では、日本語で「日常会話ができる」という回答者は67.1%を占めており、日本語が「全くできない」という回答者はほとんどない。

<地域別>

地域別にみると、アジア、中南米では約7割が「日常会話ができる」と回答しており、北米と比較すると日本語で日常会話できる者の割合が多くなっている。



②読む

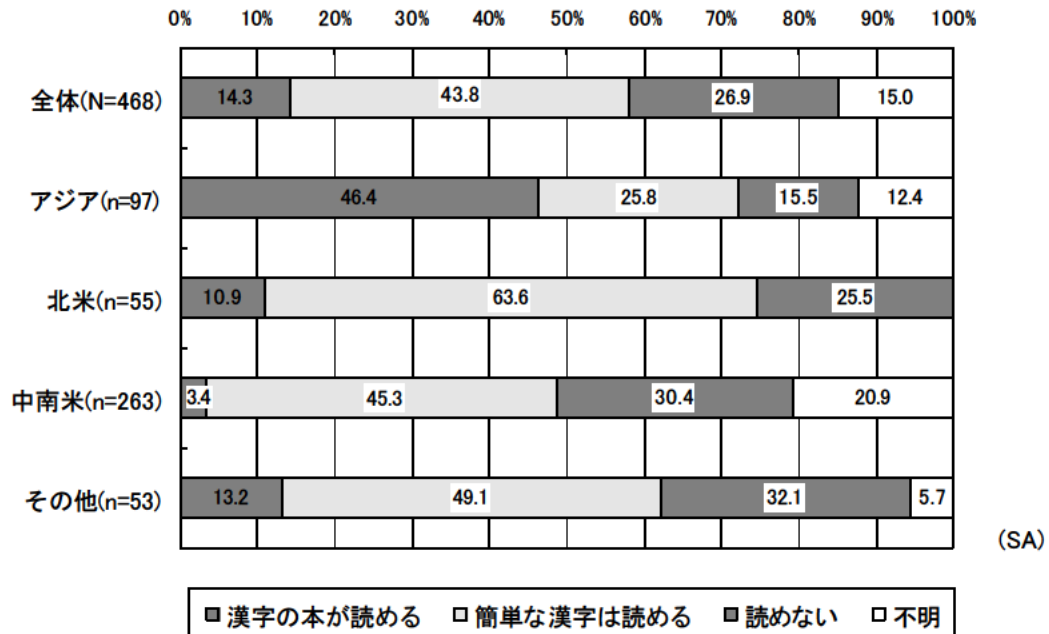
ア) 漢字

<全体>

アンケート調査に回答した外国人の中では、「簡単な漢字は読める」という回答者が43.8%と最い。「漢字の本が読める」(14.3%)という回答者は、「読めない」(26.9%)という回答者より少なくなっている。

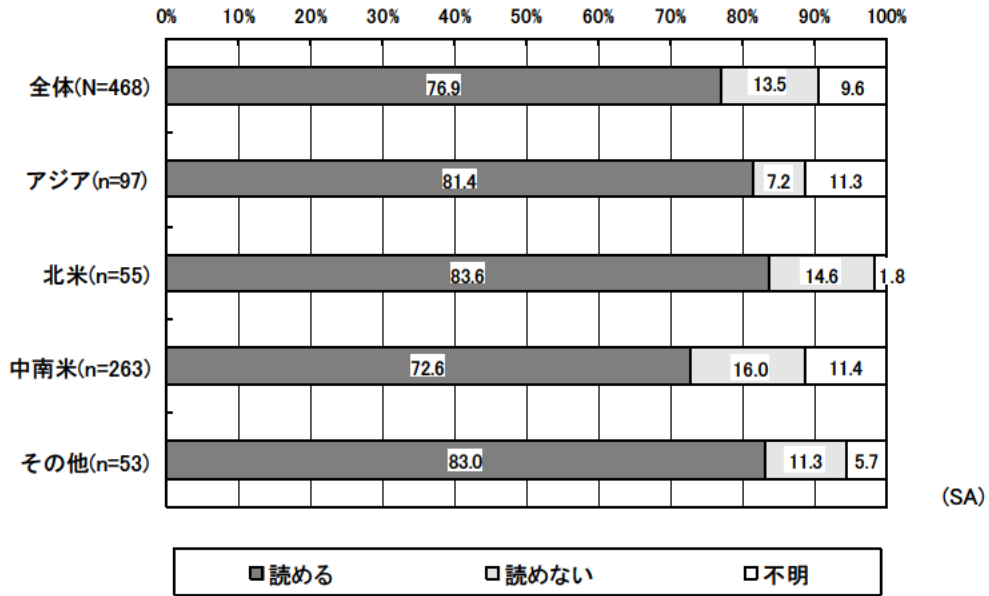
<地域別>

地域別にみると、アジアでは漢字圏出身の回答者が多いため、46.4%が「漢字の本が読める」と回答している。一方、アジア以外の地域出身者では、「読めない」という回答が約3割程度と比較的多くなっている。



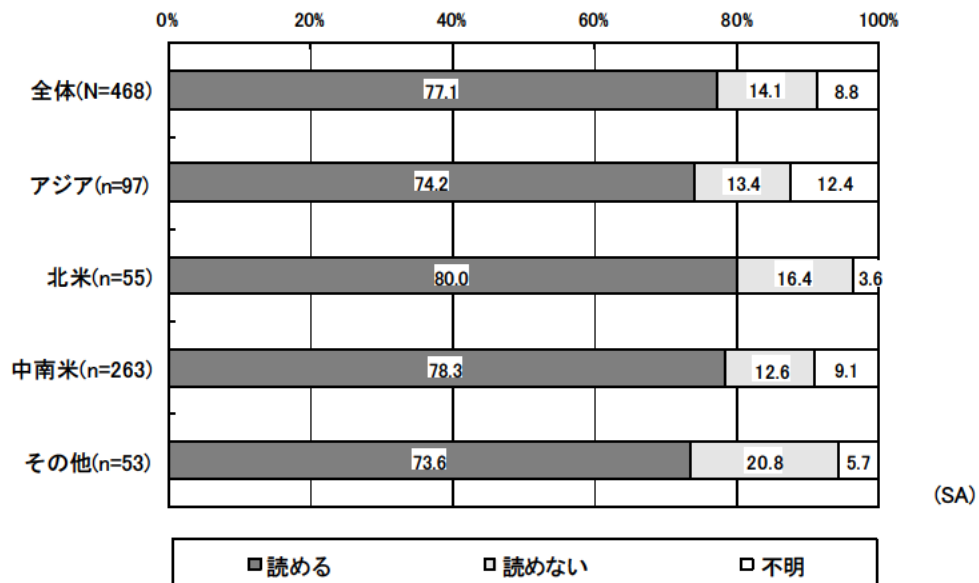
イ) ひらがな

アンケート調査に回答した外国人の中では、ひらがなが「読める」と回答した者は、回答者全体の76.9%を占めており、出身地域別にみてもほぼ同じ割合となっている。



ウ) カタカナ

アンケート調査に回答した外国人の中では、カタカナが「読める」という回答は全体の77.1%と、ひらがなが読める割合と同程度となっている。



③書く

ア) 漢字

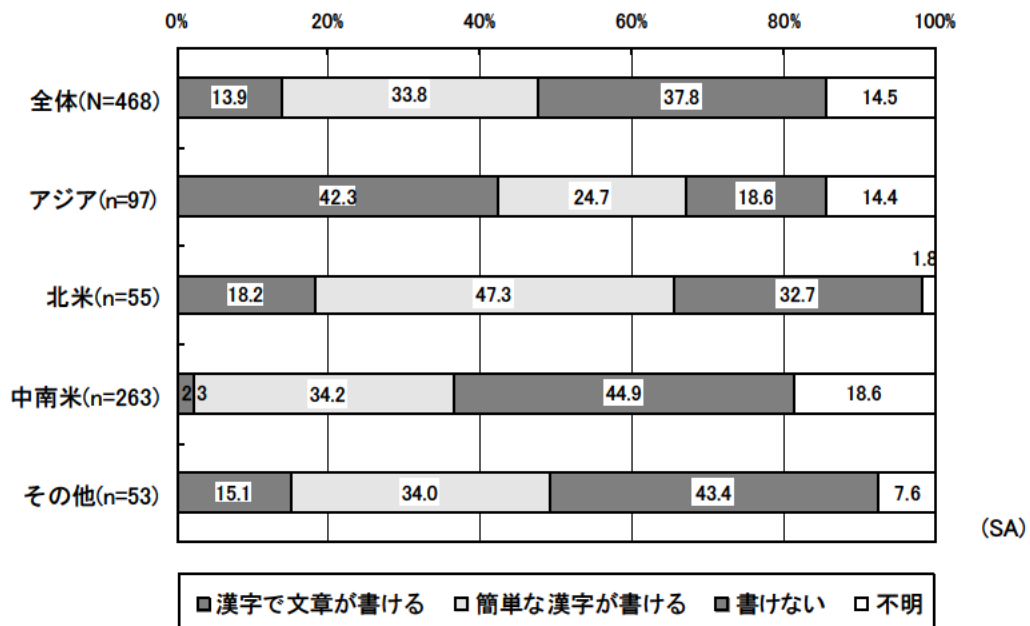
<全体>

アンケート調査に回答した外国人の中では、漢字が「書けない」という回答者が 37.8%と最も多く、「漢字で文章が書ける」とする回答者は 13.9%と少なくなっている。

<地域別>

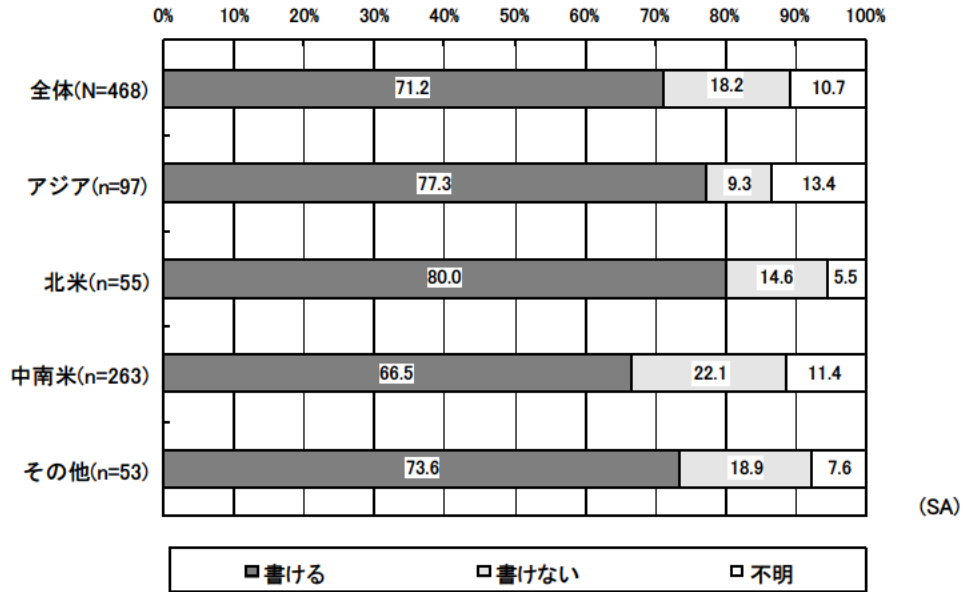
地域別にみると、アジア出身者では「漢字で文章が書ける」という回答者が 42.3%と、他地域に比べて多くなっている。

一方、中南米出身者では、漢字が「書けない」という回答者が 44.9%と多く、「漢字で文章が書ける」回答者は 2.3%と非常に少ない。



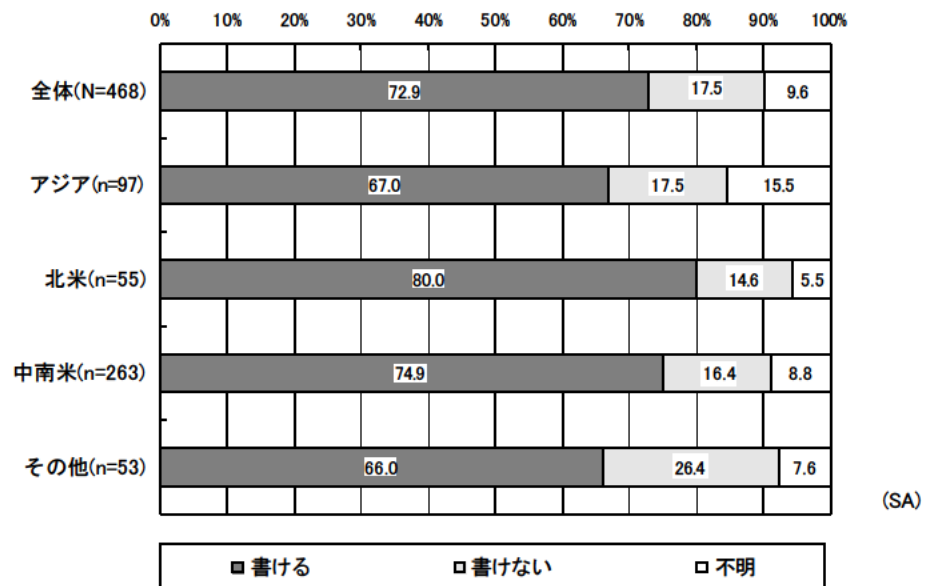
イ) ひらがな

アンケート調査に回答した外国人の中では、ひらがなが「書ける」という回答者の割合は全体の71.2%であるが、中南米出身者では66.5%と、他地域に比較して「書ける」割合が少なくなっている。



ウ) カタカナ

アンケート調査に回答した外国人の中では、カタカナが「書ける」という回答者は全体の72.9%と、ひらがなとほぼ同程度となっている。



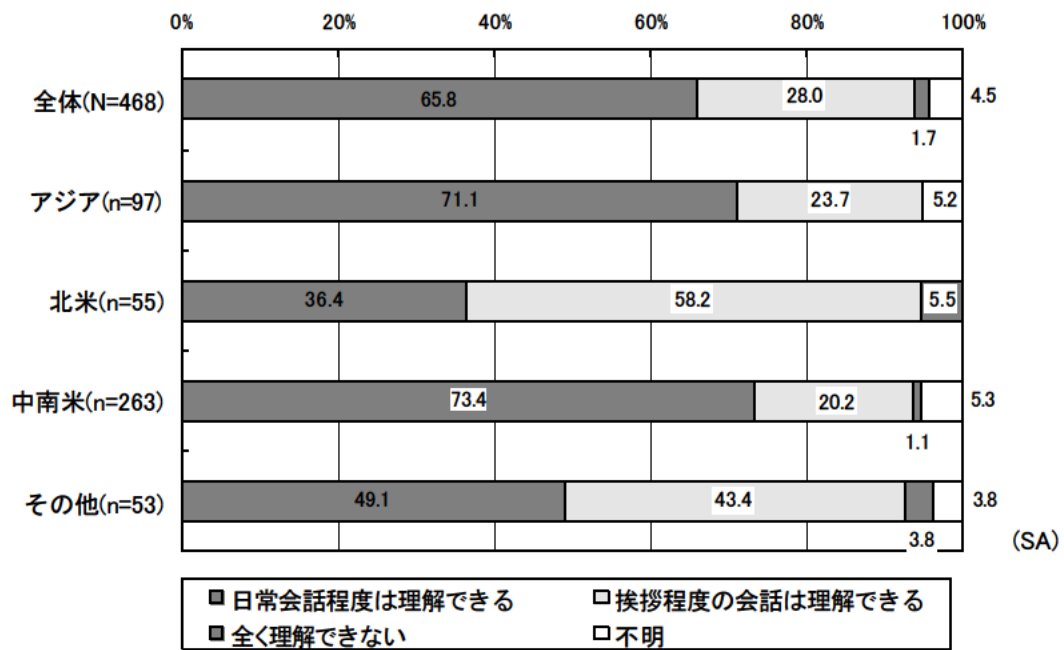
④聞く

<全体>

アンケート調査に回答した外国人の中では、日本語で「日常会話程度は理解できる」という回答者の割合が 65.8%、「挨拶程度の会話は理解できる」という回答の割合が 28.0%となっており、「全く理解できない」という回答は 1.7%とほとんどいない。

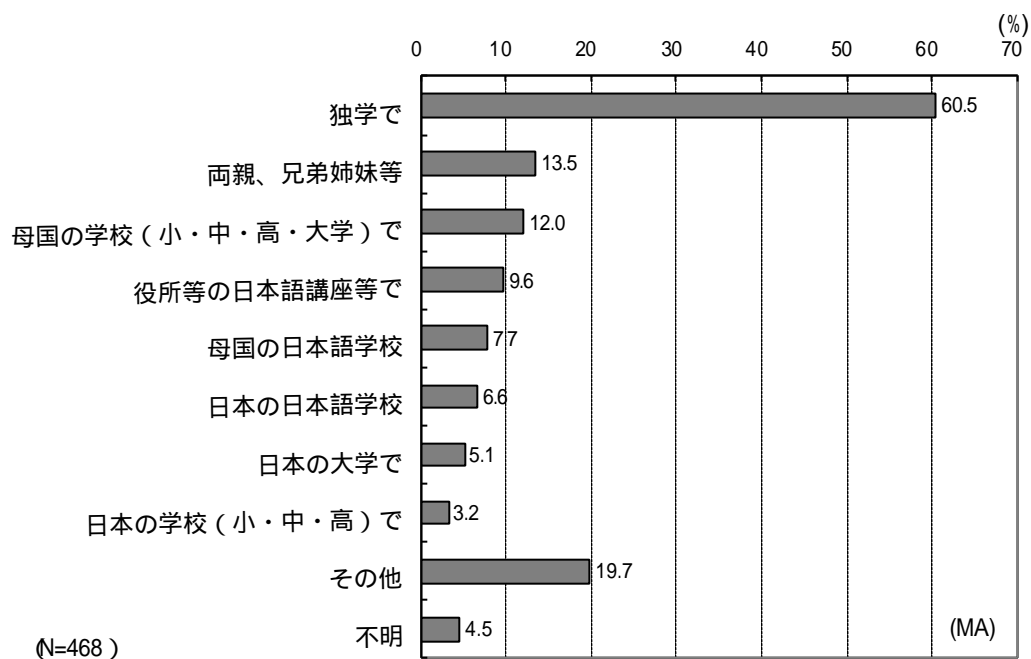
<地域別>

地域別にみると、アジア、中南米出身者では、他地域に比べて「日常会話程度は理解できる」という回答の割合が多くなっている。



(4) 日本語の学習方法

日本語の学習方法としては、「独学で」学習したという回答者が約6割と最も多い。また、「役所等の日本語講座等で」学習したとする在住外国人は約1割となっている。



質問

どんな方法で日本語を学びましたか。(複数回答)

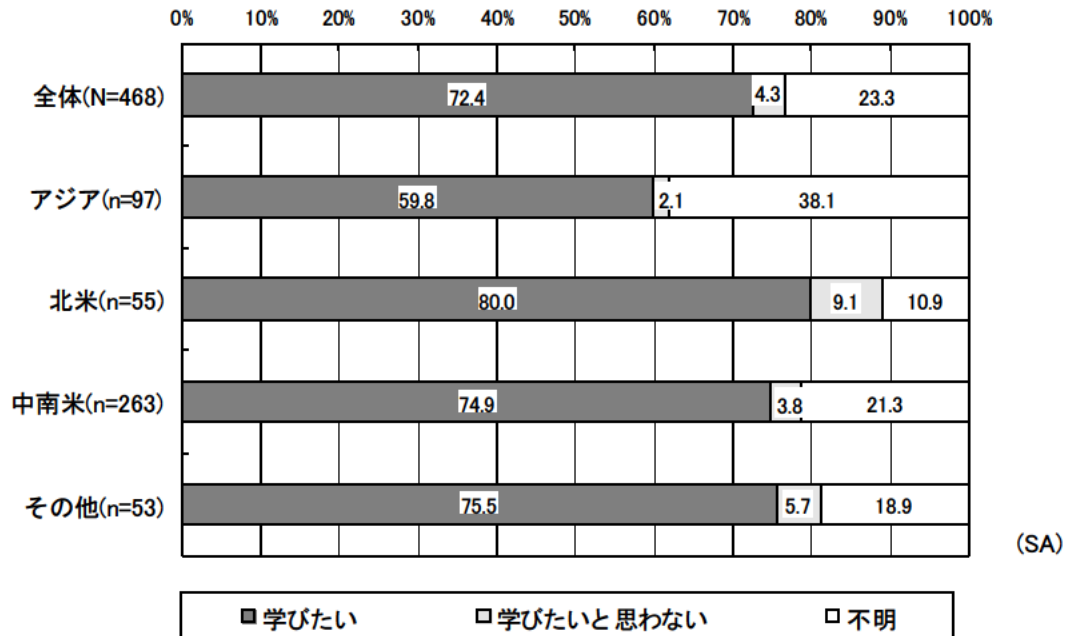
(5) 日本語の学習意向

<全体>

今後、日本語を「学びたい」とする回答者は約7割と多く、「学びたいとは思わない」という回答者は4.3%と非常に少ない。

<地域別>

日本語を「学びたい」という回答者は、どの地域の出身者でも多くみられるが、アジア出身者では、他地域に比較して少なくなっている。



○質問

今後、日本語を学びたいですか。(単一回答)